

稼働から1年半が経過 四日市市クリーンセンター

平成28年4月から稼働を始めたごみ処理施設「四日市市クリーンセンター」。
現在の稼働の状況や、本市のごみの状況などについてお知らせします。

クリーンセンターはこんな施設です

焼却施設と破砕処理施設を併設しています。

焼却施設では、ごみを高温で溶かして処理します。その際に発生する熱エネルギーを活用し、発電もしています。その電気は施設内で使用し、余剰分は電力会社などに売却しています。

破砕処理施設では、不燃ごみや粗大ごみなどを細かく砕いてから、その中に含まれる可燃物と、鉄やアルミなどの金属を選別します。可燃物は焼却施設で溶かして処理し、金属はリサイクルしています。

また、排ガスの自主基準値を設け、法律による規制値よりも厳しい基準をクリアしています。



四日市市クリーンセンター外観



ごみを燃やす熱で発電できて、
環境にも配慮しているなんて、とっ
てもエコなごみ処理施設なんだ
ね。小学校の社会見学や一般見
学も受け入れていて、環境教育の
場としても活用されているんだよ。



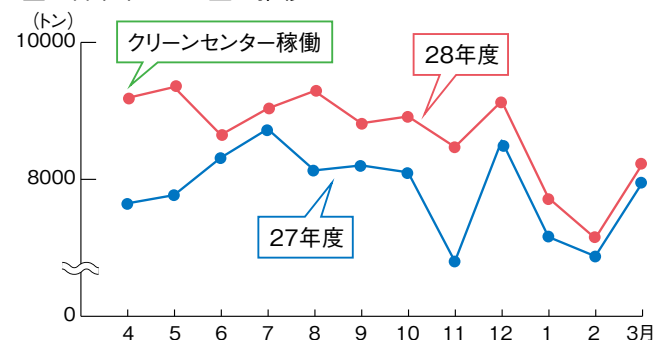
ごみ出しが分かりやすくなった一方で...

クリーンセンターが稼働したことで、ごみの分別方法が変わり、「分別が分かりやすくなった」「ごみ出しが楽になった」といったお声をいただいています。しかしその一方で、市全体で出されるごみの量が増えてき

ています。

ごみが増えれば、処理をするためにより多くのエネルギーを要します。コストも掛かり、施設にかかる負担も大きくなります。

■四日市市のごみ量の推移



平成28年度は、前の
年度よりごみの量が
多くなっているね。



ごみの減量にご協力ください

クリーンセンターを長く大切に運用していくためには、ごみの量を減らしていく必要があります。ごみの量は、下記の例のように、毎日の生活の中でのちょっとした心掛けで減らすことができます。市民の皆さん一人ひとりのご協力をお願いします。

ごみを増やさない

- 無駄な物は
買わない、もらわない
- 物を大切にし、長く使う
- 生ごみの水をよく切る



正しく分別してリサイクルを進めよう

- 資源物はそれぞれの品目に分別する
例:お菓子の空き箱なども正しく分けて、資源物の「紙類」として出す
ペットボトルは「ペットボトル」の収集日に正しく分けて出す ※キャップとラベルは「可燃ごみ」

ご存じですか?

「食品ロス」

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。日本全体で年間約632万トンにも上るといわれています。

これを日本人1人당に換算すると、毎日、茶碗1杯分の食品を捨てていることになります。

「買い過ぎない」「食べ切る」ことを心掛け、食品ロスを無くしていきましょう。



こんな取り組みもあります

「3010運動」

宴会や食事会などの「開始から30分」と「終わりの10分」は席に座って食事をするという運動で、全国的に広がっています。

好評配信中! ぜひご利用ください!

ごみ分別アプリ「さんあ〜る」

- ・資源物やごみの出し方などの注意点が分かります!
- ・「ごみカレンダー」で収集日程を確認できます!
- ・「分別帳」でごみの分別を調べることができます!
- ・プッシュ通知で収集日程をお知らせします!



▲android版



▲iOS版